

池上百竹亭コレクション展示室

无声会むせいの画家と橋口五葉ごよう

会期／令和四年十月十八日(火)～令和五年一月九日(月・祝)



橋口五葉『草合』(夏目漱石著)装幀 1908年



橋口五葉『それから』(夏目漱石著)装幀 1910年



橋口五葉『虞美人草』(夏目漱石著)装幀 1911年



平福百穂《七面鳥》

池上百竹亭コレクションは、文人・池上喜作(号・百竹亭、一八九〇―一九七八)が蒐集した近代文芸資料を主とする二二一点からなるコレクションです。今回は、无声会で活動した画家と橋口五葉の作品をご紹介します。

无声会は、一九〇〇(明治三十三年)年から一九一三(大正二年)年まで活動した、日本画の小グループです。はじめ「自然主義」をスローガンに掲げて写実を重要視し、後期には「新装飾芸術」を謳い、装飾的な傾向を強めていきました。池上百竹亭コレクションには、中核メンバーの一人である平福百穂、会員として加わった石井柏亭らの作品が収められています。

橋口五葉は、无声会の活動末期に参加し、装飾的表現を試みた作品を発表しています。池上喜作の旧蔵書の中にも、五葉が手がけた装幀本が多数あります。今回は、当館の企画展「鹿児島市立美術館 名品展」(二〇二二年十一月二十七日まで)に合わせ、无声会の画家たちの作品とともに、五葉の装幀本をご覧いただけます。



松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART

〒390-0811 長野県松本市中央4-2-22

TEL.0263-39-7400 <http://matsumoto-artmuse.jp>